「児童生徒 1,000 人当たりの不登校児童生徒数」の令和元年度実績値については、未公表であったため、「未公表」としておりましたが、10 月 22 日に文部科学省から公表されましたので、数値目標に対する現状と評価等は、下記のとおりとなります。

ーシ゛		新																					
16	項目	単位	基本計画 策定時 (H26)	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元 年度 実績	評価	令和2 年度 目標	項目		位 策定	基本計画 策定時 (H26)	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績		平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	令和元年度実績	評価	令和2 年度 目標	
	児童生徒 1,000 人 当たりの不登校児	人	小学生 2.5	3.0	3.2	4.0	5.4	未公表	Ξ	小学生 2.4	児童生徒 1,000 人 当たりの不登校児 人 童生徒の数	٨	小学生 2.5	3.0	3.	.2	4.0	5.4	<u>5.6</u>	<u>D</u>	小学生 2.4		
	童生徒の数		中学生 28.5	29.9	29.8	31.2	33.5	未公表	=	中学生 26.8			,	中学生 28.5	29.9	29.8	.8	31.2	33.5	32.2	<u>D</u>	中学生 26.8	
	※文部科学省に ない。(児童生	_																					
)	番買目	単位	奎宁時	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	平成 29 年度 実績	平成 30 年度 実績	評 年度 実績	一一一	令和2 年度 目標	番号	項目	単位	基本計画 策定時 (H26)	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績	評価		平成 30 年度 実績	評 令和 年 実	度 一冊	令和2 年度 目標	
	児童生徒 1,000 8 当たりの不登校り 童生徒の数		小学生 2.5 中学生 28.5	3.0	3.2 D 29.8 D	4.0 D	5.4 33.5	D 未公表	=	小学生 2.4 中学生 26.8	児童生 8 当たりの 童生徒			小学生 2.5 中学生 28.5	3.0	3.2	D D	31.2	5.4	D 5. D 32	6 <u>D</u>	小学生 2.4 中学生 26.8	
	平均進捗度による総合評価 D D D M D ※文部科学省による前年度実績の調査結果が、本報告書作成時に未公表のため、評価できない。(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)												1	平均進捗	 をによる終	谷評価_	D		0	D	<u>D</u>		
2												D評価となった要因と今後の対応について 8 児童生徒 1,000 人当たりの不登校児童生徒の数											
,											(H2	<u>基準値</u> 27 年度) 生 3.0 人		(令和	<u>軽績値</u> 0元年度) 5.6 人	-	<u>-</u>	<u>目標値</u> (R2 年度) 2.4 人					
												生 29.9 人	学校	3	2.2 人	や背景	景には	26.8 人	重生徒の	心の問	題とと	: もに、家	
庭、友人関係、地域、													、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡。										
	<u>合っていることが考えられる。</u> <u>今後の対応</u> 各学校において初期対応を丁寧に行うとともに、児童生徒の心理													きの心理面 かんしゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい									
													福祉面に関して専門的な支援ができるスクールカウンセラーやスクールソーシールワーカーと連携したチームとしての支援や、家庭への積極的な働きかけ等に										
	り組む。													対うた旧									
											また、新たな不登校を生まないために、学級や学年、学校等の枠を越えた児童 生徒の交流により自己有用感を高めるための取組みとして、平成 27 年度から												
											「心の交流事業」を実施しており、本事業のこれまでの知見を生かし、効果的な 取組みについて、周知・啓発を進める。												